

アクションプラン 2017



重点施策1 西濃地域に高等特別支援学校を整備します

施策内容

- 西濃高等特別支援学校（仮称）を大垣特別支援学校北校舎に整備します。

・開校予定年度	平成30年度
・学科	総合産業科
・選択専門コース	ものづくり系列：工業、食品 サービス・コミュニケーション系列：福祉、環境サービス
・必須専門	喫茶サービス、ビジネス・情報、ロジスティックス
・普通教科	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語

- 可茂特別支援学校高等部において軽度知的障がいのある生徒が増加しているため、高等特別支援学校の早期整備に向けて、整備地等の検討に着手します。

高等特別支援学校整備スケジュール

地域	整備方法	定員 (1学年)	年度					
			H29	H30	H31	H32	H33	H34
岐 阜	岐阜清流高等特別支援学校	48人 6学級	開校					
西 濃	大垣特別支援学校北校舎に整備	24人 3学級	着工	開校				

重点施策2 発達障がい等のある生徒を対象とした学びの場を整備します



施策内容

- 中学校において、発達障がい等のある生徒を対象とした「個別支援教室」のモデル研究を行います。

- ・モデル校を指定し、少人数指導の授業において、さらに1～3人のグループを編成し、学習しやすい方法を学んだり、個別課題に取り組んだりする新たな学びの場のモデルを構築します。
- ・情報機器等を活用し、障がい特性に応じた学びやすい学習方法について実践研究を進めます。

● 高等学校において、「少人数コミュニケーション講座」を導入します。

- ・ 特別支援教育に関する専門性の高い教員をモデル校に配置し、「少人数コミュニケーション講座」の指導内容の開発や教育課程の編成等に取り組みます。
- ・ 選択科目の一つとして学習する方法（パターン①）や日曜日に開講する講座に他校の生徒も参加する方法（パターン②）など、生徒が受講しやすいような学びの場のモデルを構築します。
- ・ 併せて、担当教員が学区内各校を訪問して支援を行う方法についても検討します。

「少人数コミュニケーション講座」導入スケジュール

	H29	H30	H31	H32	H33	H34
岐阜学区	華陽フロンティア高校 モデル研究（パターン②）	本格実施				
西濃学区	不破高校 モデル研究（パターン①）	本格実施				
他学区	実施校決定	各学区に1校ずつ設置				

● 小学校→中学校→高等学校の一貫した支援体制のモデルを構築します。

- ・ 研究地区を指定し、小学校、中学校、高等学校が一体となって、児童生徒の状況や支援内容を確実に引き継ぐためのシステムづくりに取り組みます。
- ・ 中学校の生徒や保護者を対象とした進路説明会や教育相談会の開催について検討を行い、試行的に実施します。

● 特別支援学校の学習環境を整備します。

- ・ 岐阜本巣特別支援学校に普通教室や作業学習室等を整備します。
- ・ 岐阜清流高等特別支援学校へのコミュニティ・スクール制度導入の準備をします。

重点施策3 学びの場を支える教員の専門性を向上します



施策内容

- 特別支援学校のコア・スクールにおいて、各障がい種の専門領域に関する指導的立場の教員（コア・ティーチャー）を、計画的・継続的に養成するとともに、各地域の特別支援学校と連携した小・中学校、高等学校への支援を充実させます。
- 高等学校における「コミュニケーション講座」の担当教員を発達障がい支援の核となる教員（コア・ティーチャー）として位置づけてモデル研究を進めるとともに、国立特別支援教育総合研究所等の研修にも取り組みます。
- 特別支援学校に勤務する教員の特別支援学校教諭免許状の取得を促進するとともに、免許保有率を向上させるための手立てを検討します。